

市民公開講座

命をつなぐ贈り物 ～献体が拓く医学の未来～

2024年

10.13日

13:00～

15:30

場所 札幌医科大学 臨床教育研究棟1階 臨床講堂

第1部: 講演 13:00開会

講演①

「献体とは?
— 医学教育・研究への貢献」

講師

札幌医科大学 解剖学 第二講座
教授 永石 歓和



講演②

「献体を用いたサージカル
トレーニングの実際」

講師

札幌医科大学 整形外科 講座
教授 寺本 篤史



講演③

「献体とPPI
(Patient and Public Involvement)」

講師

札幌医科大学 法学・社会学
准教授 旗手 俊彦



講演④

献体の意義
「人間の尊厳 (human dignity)
概念を考える」
がん緩和ケア医50年の経験から

講師

医療法人 東札幌病院
理事長 石谷 邦彦



第2部: パネルディスカッションとQ&A

- 司会: 札幌医科大学医学部解剖学第一講座 教授 大崎雄樹
- パネリスト: 第1部講師4名、白菊会会長 渡辺博之

対象者

- 一般市民、高校生など
- 定員300名 ※申込多数の場合は締め切らせていただく場合がございます

参加費

無料

申込方法

- Webサイトからの事前登録が必要
→<https://forms.gle/aagw9N9rVnzJyxF16>
- 登録締切: 2024年10月上旬



◆主催者

札幌医科大学医学部解剖学第一講座、第二講座 / 主催者代表: 解剖学第二講座 教授 永石 歓和

◆問い合わせ先

札幌医科大学医学部解剖学第二講座 (札幌市中央区南1条西17丁目)

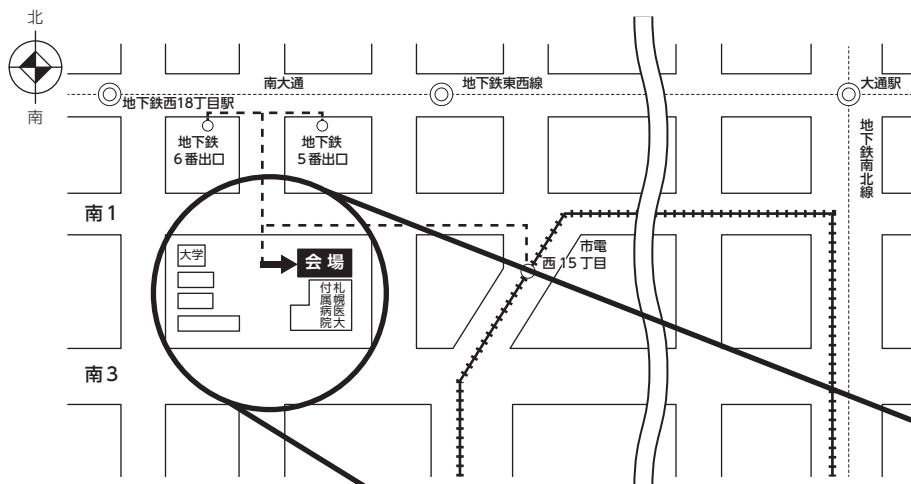
TEL 011-611-2111 (大学代表)、内線 26460

事務局担当: 岩村、吉田 / 連絡先: 主催者代表 / メールアドレス: shiragikukai@sapmed.ac.jp

ご案内

「献体」の重要性とその社会的意義について広く理解を深めるため、市民公開講座を開催いたします。献体は、「死後、自分の身体を医学や歯学の教育と研究に役立ててほしい」という多くの方々の篤志によっておこなわれ、医療職の育成に多大な貢献をしてきました。日本では、これまでに32万4000名を超える方が献体登録をおこない、そのうち15万5000名を超える方々がすでに献体されています（令和5年3月31日現在、篤志解剖全国連合会調べ）。医師、歯科医師をめざす学生が人体の仕組みを学習するためには、献体を用いた実習が欠かせません。また最近では、医療現場において安全で質の高い医療を提供するための手術トレーニングや医療技術進歩のための研究にも、献体が用いられています。一方で、コロナ禍における行動制限を受けて、献体に関する情報に触れることが減り、献体登録者が減少傾向にあります。そこで、この市民公開講座では、解剖学教員、外科系医師、社会学者、緩和ケア医のそれぞれの立場から、札幌医科大学でおこなっている取り組みや献体を通じた社会への関わりなどを紹介し、献体が医療において果たす役割や意義について議論し理解を深めたいと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



会場 周辺図

【会場へのアクセス】

- 所在地
札幌医科大学 臨床講堂
札幌市中央区南1条西17丁目
- 公共交通機関
地下鉄東西線西18丁目駅5番出口
より徒歩5分
市電西15丁目駅より徒歩5分
- お車でお越しの方
有料駐車場がございます

